

事務事業事後評価シート[平成30年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	都市整備部都市計画課	■担当係	公園緑地係
■評価事業名称	緑化推進事業		
■事業開始年度			
■評価事業コード	070400 - 301	■会計区分	一般会計
■総合計画での位置づけ	■政策	05 誰もが快適に暮らし続けられるまちづくり	
	■基本施策	01 快適な居住環境の形成	
	■施策	03 緑のまちづくりの推進	
■事業の種類	05 ソフト事業(任意)	■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に定めはあるが任意の自治事務		
■法令等の名称	都市緑地法		
■関連計画の名称	北上市緑の基本計画		
■事業の目的と概要	緑を育む意識の啓蒙を行うことにより、みどり豊かな潤いのあるまちづくりを推進する。結婚・出生の記念苗木配布、緑の相談所開設		

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成30年度事業計画	平成30年度事業量実績
01	緑化推進事業	一般	記念苗木370本、緑の相談所及びみどりの庭造りサロン開設1回	記念苗木350本、緑の相談所及びみどりの庭造りサロン開設1回

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	備考
直接事業費	377	373	336	358	
人件費	819	526	153	231	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	1,196	899	489	589	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	27年度	28年度	29年度	30年度	指標の説明
01	記念苗木の配布	380本	380本	340本	350本	記念樹苗木準備数
02	苗木等配布実績	360本	297本	281本	254本	記念樹苗木配布実績数
03	1本당りコスト	3,222円	3,026円	1,740円	2,318円	フルコスト/苗木等配布実績

事務事業事後評価シート[平成30年度事業]

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

毎年、一定数の苗木が結婚・出生世帯に配布されており、個々の家庭への緑を育む意識の啓蒙が進んでいる。

問題点・課題等

結婚・出生世帯数に対し、配布率が約20%程度となっており、周知方法や配布対象者のニーズに対応した意識啓蒙手法の検討が必要である。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

3. 事業廃止の影響・貢献度

- 事業の廃止により重大な問題が発生する
- 事業の廃止により何らかの問題が発生する
- 事業の廃止による問題は想定されない

4. 市民生活・企業活動への貢献度

- 市民生活・企業活動の維持に不可欠
- 市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している
- 市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い

5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

- 1. で選択した人の大多数(70%程度)
- 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
- 1. で選択した人の少数(30%程度)

6. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

8. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

9. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

10. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

11. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2,4の補足説明含む)

対象者は毎年新たに対象となっており、個々の家庭への緑を育む意識の啓蒙を進めるためにも、継続した取り組みが必要である。

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了